

女性が輝く 京都企業

8

志津屋



地下鉄四条駅構内にある四条烏丸店と店長の安田さん

女性たちののびやかな活躍で 商品力と接客術をパワーアップ

パン消費量で全国1、2位を争う京都にあって創業から68年にわたり、“パン文化”を担ってきた志津屋。「体にやさしくおいしいパンを提供するという基本精神を貫きつつ、消費者ニーズを追求するなかで、自ずと女性スタッフへの信頼が高まってきました」と堀三津雄社長は語る。「当社では男女の別なく入社後2、3年で何らかの管理職に就いてもらうことを目標としています。そこで成果を出してくれるのが、ほとんど女性なんです。また、パンという商品柄、やはり生活者に近い視点は貴重。ゆくゆくは全店舗の店長に女性の抜擢を考えています」。全23店舗中、現在、女性店長が活躍するのは店舗展開の新機軸として力を入れる「駅ナカ」の7店舗。なかでも1日の来店客がのべ1300名を超えるという四条烏丸店で総勢20名の社員とアルバイトを束ねるのが、入社15年、店長歴10年の安田歩さんである。自らも店頭に立ちつつ、商品管理、人材の育成から新製品の提案までカバーする仕事ぶりに、全幅の信頼が置かれている。「どんなことも熱意

があれば『やってみる』と大きな気持ちで背中を押してもらえることに感謝しています」という言葉からも、旺盛なチャレンジ精神がうかがえる。「現場で磨かれた感覚には、正直、かないません。私自身、若い人たちから勉強させてもらっています。厳しく細やかな人材育成も女性ならではの。お客様から接客をお褒めいただくと、何より嬉しいですね」と堀社長。積み上げた各々のキャリアを活かすべく、結婚・出産後も働き続けられる制度の整備も抜かりない。

今後は、従来男性中心だった製造部門にも女性技術者を増やすべく、今年4月に施行された「女性活躍推進法」に基づく行動計画を策定。すでに毎月10種程度発表される新製品企画には若い女性の感性が発揮され、負けじと男性スタッフも奮起する好循環が生まれているという。「女性はわが社の活力の源」という堀社長の言葉のとおり、生き生きと働く女性たちの笑顔が、社の内外に元気を広げていく。



代表取締役社長の堀三津雄さん(左)、四条烏丸店長の安田歩さん



株式会社 志津屋

代表者 / 堀 三津雄
住 所 / 京都市右京区山/内五反田町35
TEL / 075-811-6000
URL / <http://www.sizuya.co.jp/>
事業内容 / パン・洋菓子の製造販売、飲食店の営業

従業員 / 172名(男性106名、女性66名)
パート・アルバイト378名
(男性44名、女性334名)